



今日の颶風襲来て 水戸以南列車不通

今日の颶風襲来て

水戸以南列車不通

運轉中止で混多返した同線 本線は大体に於て無事 気遣はれた今日(二十一日) 危険であるものその他鐵道で

鉄増需の波に乗じ

大規模な鑛山開坑

小名瀝工場の原料に充てる 日曹系の計畫で以て 石城郡入遠野村から上遠野及

平市會

来る五日召集 平市會は来る五日午前九時か

青年立志會支部 結成續々

今日日平憲支社 警城青年立志會は地方から多

改選期に近づき 立候補人の肚裡

有権者は一千名内外 平税務所管内に於ける所得調

伊豆凡の時局講演會

明後三日平第三小學校で 平市聯合青年團主催市役所及

平市公會堂の 竣功式準備 平市公會堂の竣功式は展覧會

敵よりも恐ろしい 炎暑の中に迫る渴

(中) 平市新町出身 正木 貞衛 此の故國の香り床しき品々

四倉市場

昨三十一日の 平均四五圓四〇銭 四倉市場昨三十一日の出廻

倭米共販

今日の出荷七六七七 石城販賣聯合に於ける今日

石城郡の 供出大麥 三三〇〇俵 石城郡に於ける供出大麥は去

双葉中堅農講の 石城視察 全路自動車 双葉郡中堅農講視察會で

歸省漫筆 (16) 勿來庵へ 諸根生 私私昭和四年以來、今日に

四倉市場 平均四五圓四〇銭 昨三十一日の出廻り

倭米共販 今日の出荷七六七七 石城販賣聯合に於ける今日

石城視察 全路自動車 双葉郡中堅農講視察會で

信濃屋洋行 代理店 魁文堂

農業

農山漁村への

新指令 (下)

必要程度を四分し
全面的の生産統制

漸くして生産力の減少を最小限度に止むるとともに消費規正の程度を漁業者に平等に負擔せしむるやうに配慮されたいとするもの、
製革原料家畜皮の増産、今次の事變にもなび皮革は軍需の増増と輸入制限の結果、需給の圓滑を缺くので自家用の目的をもつて屠殺したる豚、山羊などの皮、並びに斃死者の皮の利用が未だ充分でないのは遺憾なので自家用の目的でもつて屠殺したる豚、山羊及び斃死者の皮は能ふ限りこれを剥皮販賣させて時局に對應せしむるやう一層努力されたとするもの、
竹材の利用促進、近年竹材の細工ものも多くが價格を下落したので竹林の増殖を主控せられつゝある傾向にあるは甚だ遺憾とするところであるが戦時經濟の進展にともない鐵、銅等の金屬及び皮革等各種物品の使用の制限せらるゝもの益々多くこれ等の代用品として竹林利用の諸製品の促進を圖ることの必要極めて切實なるものがあるので竹材の生産を増加せしめ並びにこれが利用の増進に關し極力獎勵を加へられたいと爲されたるもの等々以上であつたが何れも時局下に即應する好圖として注目されるべきもので實行も敢へて至難とす

へきものでないと言はれてゐる(元)

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一
入院隨意 病室完備

木村病院

電話一六四番

幸福の父

健康の母たらんには
召し給へ！
機那サフラン酒は
子寶を得て易し。

定價 二瓶一〇〇円

吉澤仁太郎藥房

平市五丁目 山野邊藥局

便利で 經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用

身元確かで品行方正ですから
何をお任せしても安心です

合員(同志)の
参加を御誘
ひ致します
派遣なき間
暇に裁縫や
洗濯を御教
授致します

◎ 日下家政婦會
會長 日下すい子
電話七二三番

婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一
入院隨意 病室完備

木村病院

電話一六四番

内科、小兒科 平市田町 電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院

院長 醫學士 高久忠

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正
平市二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

價之低 質之高

高久藥房

平市田町 電話五二三番

專 門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より
午後九時まで

江尻醫院

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番

國民精神總動員
日本國民必見の書……

内閣情報部發行

寫眞週報

1部10セン

お取次致して居ります

平市 西村屋藥局 電三

御婦人用 御子様用

陳列 簡單衣 豊富

ツルヤ

平市 電話一四〇

平市田町 (三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

入院應需(自炊の便あり)
電話六六九番

根本 婦人科醫院

平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄
電話三四番

(入院隨時)